ROTARY CLUB OF KANAZAWA-NORTH

金澤北ロータリークラブ

1992年3月5日 第458号

例会日：木曜日 12:30～13:30
例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭
TEL〈0762〉52-2271　FAX52-2273
事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所
TEL〈0762〉22-2525　FAX24-2882
会長：中村三次　幹事：木村丹二
情報委員長：長谷川塑人　会員87名

「冬を食べる」

青木クッキングスクール
校長 青木悦子氏

「食は、金沢に有り」。
この理念を基に発足したフードピアも、そろそろ根づいてきました。

日本料理は何となく京風、関東風にと大別されて来たのですが、戦後になってこれに一枚加わったのが加賀百万石の伝統と文化に培われた食文化なのです。

今迄の味と一味違った味覚に対して「金沢はいいわね」の一言が言い現しています。

材料の豊富なのは勿論、水のうまさ、山や野や海で獲れる菜や魚の新鮮なこと、生きた素材が身近ですぐ手に入るのです。

演出の妙を特長とする京の都でも、こうは参りませんね。

通称ブリオコシと言う冬の季節に響き渡る雷様の声にも、金沢人は「あゝオイシイ魚が食べられるぞ！」と感興を湧き昇らせるのですよ。

又恵まれた素材の中に「鱈」があります。イワシやヒイラギがあしらわれた鱈のコツケが季節感と風土を感じさせます。

鱈一本、先日外人さんや知人の前で捌いたのですが、頭から尾の先までまったく捨てるところ無し、その料理風に先人の知慧を深く思い識ったのです。タラフク食べるのがタラの語源とか？と言う位です。

鱈一本、片身はコブジメ、後片身は焼ものやカスヅケ、内蔵は勿論その油も全部食せます。タラ汁、味噌汁と実に千差万別。

都会の人から良く聞く言葉に「一変カブラズシなるものを味わってみたい」があります。先日、そのカブラズシをお送りしたお礼の手紙には次の様に書かれていました。

「オイシサは勿論のコト、その郷土愛に心から感動しました。百万石文化の深い味わいが、小さな木箱の結びヒモにも上掛けされた和紙にも湧き上がる如くに感じます」と。

私は、
そこに住む人の気候風土に養われた味の深さに「風景」が入ってこそ、本当のゴチソウだ、と信じます。

－金沢北RC例会講話より－（文責　長谷川塑人）

私の名刺

江守　巧

この度、金沢北ロータリークラブへ加入させて頂くことになりました。

例会の自己紹介でも話しましたが、一般に医者の世間は極めて狭く、異なる職種の方々と話す機会もあまりありません。私自身についても、多くのことを経験するにつれて、自分の人間としての狭さを痛感するようになりました。医者として患者との交流だけではなく、病院という枠を越えた異職種の方々との交友関係の必要性を強く感じています。我々の脳神経センターをつくったのも、脳神経外科と神経内科という外科と内科の垣根を取り外し、より広い視野で患者を診る目的でした。垣根は低ければ低いほうが良いと思います。

ところで我が国のマスコミでは“国際化”と叫ばれて久しくなります。しかし、現状は政治家の「アメリカの生産性が落ちるのは労働者の質が悪い。」と言う発言に代表されるように狭い視点でしかものを見ていません。では日本の農業の生産性が世界でも最悪なのは、農民の質が最低だからでしょうか？政治家だけでなく我々自身も、日本あるいは日本人という枠を越えた大きな視野でものを見ることが必要だと思います。ロータリークラブでの交流が私の垣根を低くしてくれるものと期待しています。

アメリカがロータリーの発祥の地だと聞き、多民族国家のアメリカだからこそ、人種や様々な垣根を越えた活動が生まれたと思いました。私がロータリークラブに関心を持ったのも、アメリカ留学中でした。直属の教授がロータリアンだったからです。その教授のスケールの大きい人格と分け隔てのない奉仕活動、多彩な人脈に感銘を受け、少しでも先生に近付きたいと思っていました。以後の人生観が変わったような出会いでした。

たった一度の人生もすでに半ば、不惑の歳を過ぎました。後悔しないよう、世のため人のため、そして自分自身のために、少しでも己を磨きたいと思っています。素晴らしい先輩方との出会いを楽しみにしています。

よろしくご指導をお願いします。

二塚長生会員画

私の職業奉仕

～紙文明と環境～

小林　　隆

数年続きの暖冬にて町並に雪の姿もなく、春の声がもう近くまできこえており、金沢の文化を楽しみに観光客もこれから続々と来られます季節となってまいりました。

私は職業柄、毎日が紙と接しない日はありません。我社の主力商品であります書籍、雑誌、カタログ、業務書類、コピー、コンピュータ用紙、包装紙等々、もし一日だけでもこの紙文明と離れたら私達はどうなることでしょう。イヤ、私は離れてみせますと豪語はしても、新聞、ティシュペーパー、トイレットペーパー等一日だけでも離れることの出来ない紙文明にたよりきっている生活環境ではないでしょうか。先日、1990年の書籍、雑誌の日本での発行データを調べてみました。書籍全体で、34,297万冊発行されており、内訳は単行本9,354万冊、文庫本13,334万冊、新書本5,625万冊、全書双書で5,282万冊等々となっています。一方雑誌は全体で443,044万冊も発行されております。これらの紙文明は、図書館、個人の蔵書として永年勤続となるものが多いはずですが一方では再生して別の活躍をするものも多くあります。中国は紙を発明した国でありますことは、ご存じの方も多いと思います。中国ではいま紙が大変不足しております。よく中国の町はきれいだということをお聞きいたしますがこの意味は紙が不足をしていて、非常に貴重品になっているからだと思います。最近私の知人がヨーロッパへ旅行をされまして、各国々のお話をお聞かせいただきました折に、おみやげ品店では商品に包装をしてくれないのが常であり、包装を依頼いたしますと紙を切って、又依頼があってから袋を作るとお聞きいたしました。これも中国と同じで紙が貴重品となっているからでしょう。先日、あるオーナーとお会い致しました折、新聞の折込み広告紙をメモに利用されておりましたのには私は頭の下る思いが致しました。私は日々、なんの気なく紙文明にたよっていても紙がなくなった時、貴重品になった時の生活を考えてみますと、「困ったな」というのが素直な現実感です。文化都市金沢の川、小川、用水の水が少くなったとき、利用するだけされた紙文明の可哀相な姿を見ることがあります。文化都市金沢の環境美化に奉仕いたしますことが、これからの紙文明に感謝をすることになるのではないかと思っております。

第915回例会

◆2月20日㈭くもり12:30～13:30　松魚亭

1．講　　話
金沢大学公衆衛生学教授
岡田　晃氏
「健康と概念と環境」

2．出　　欠
出席63名　欠席23名
出席率73.25%
ビジター　名

3．来 訪 者（敬称略）
吹田RC　峯岸　昭
（生命保険）
金沢RC　石黒裕明、
田幡平次、吉田国男、
池澤伸介、蚊谷八郎、
金沢東RC　米沢秀男、魚部　皓、浦田　進
小島一紀、吉田幸雄、彦田昭雄
金沢西RC　嶋崎美納利、疋田秀久、宗広満夫
梅田　明、渋谷弘利、篠原達郎
金沢南RC　杉野健二、辻　　弘、、山本　茂
橋本勝郎、清水昭男
香林坊RC　益永哲郎、由水煌人、髙辻時長

4．幹事報告○インターシティ・ミーティング（I・M都市連合会）
3月1日㈰　加賀市文化会館にて

5．ニコニコボックス
越野君　本日の講話に岡田教授をお迎えして。
佃　君　一昨日の読売新聞に我社の記事を記載して頂きました。今年も4月11、12日に第6回浅の川園遊会が開催されます。多くの会員には毎回御協賛をいただいております。今年も何卒よろしくお願い致します。
関　君　メーキャップが続いて。又、誕生日カードありがとうございました。
梅原君　誕生日カードありがとうございました。
合計 11,000円（累計 2,276,000円）

6．今週のニュース
○国連、カンボジアに最大規模のPKO（平和維持活動）2万人派遣を承認
○山一証券、200億円の赤字、他の3社も大幅減益
○グアム駐在の石川県人佐竹さん夫婦強盗に殺害される。外地での邦人誘拐、殺人事件しきり

第916回例会　夜間例会

◆2月27日㈭はれ18:30～20:30　松魚亭

1．クラブフォーラム

2．出　　欠
出席52名　欠席34名
出席率60.47%

3．来 訪 者（昼受付、敬称略）
金沢RC　蚊谷八郎、佐藤満雄、南　定雄
本田八郎、池田典明、星野憲司
吉崎隆司、塚田洋一
金沢東RC　平井大承、本多奥右衛門、不室　昭
嘉野幸太郎、石動隆信、篠原建夫
小泉重紀、越原悠三、中橋秀夫
川守祐市、野村　清
金沢西RC　加藤肇夫、熊野　武、明石　巌
金沢南RC　新保弾次、綿谷一郎、新家常男
猪苗代勉
香林坊RC　浅田恒二、西田泰明

4．ニコニコボックス
関君　メーキャップが続ました。
山本(麒)君
48才の誕生日を無事に迎えることが出来ました。
合計 5,000円（累計 2,281,000円）

5．今週のニュース
○衆院予算委で共和リゾート汚職で鈴木元首相、塩崎元長官喚問される
○アルベールビル冬季五輪、日本史上最多のメダル7個
○平成4年石川県予算、税収減で歳出頭打ち、一般会計4871億円

2月クラブ日誌

2月3日㈪	金沢6RC合同幹事会	金沢東急ホテルにて
6日㈭	新会員研修会（炭谷君、森君、江守君）	松魚亭にて
13日㈭	理事会・クラブ協議会	松魚亭にて
24日㈪	地区大会企画委員会	松魚亭にて
27日㈭	夜間例会	松魚亭にて